

<b>PTA活動紹介</b>		高P連受付番号	1
PTA(学校)名	愛知県立豊田西高等学校	部門	安全
活動テーマ	土曜セミナー見学会・親子講演会「安全スマホ教室」の開催と運営		
キーワード	PTA役員主催行事	親子で講演会を聞く	スマートフォンの安全利用
開催日	平成28年5月21日(土)		
場所	愛知県立豊田西高等学校 鴻志館(体育館)		
時間	土曜セミナー見学会10:00~11:00 親子講演会11:15~12:10		
参加者	一般参加者 1・2年生保護者 144名 1・2年生生徒 720名 運営委員 PTA役員・委員 23名		
趣旨	家族行動の個別化が進み、家族との十分な会話ができないノーコミュニケーション家族が増加している可能性がある。このことは、生活満足度の低下をもたらしている要因の一つといえる。そこで、親と子どもが家庭で共通の話題で会話をする機会を設けることが必要と考え、PTA役員会で議論を重ね、親子で一緒に講演会を聞くことが家族団らんの一助となる考えた。講演会の内容については、高校生になって所持する生徒が多くなる「スマートフォンの安全利用」について行うこととした。		
活動ポイント	親子で「スマートフォンの安全利用」についての講演を聞き、家庭でのルールづくりに役立てる。企画・運営をPTAだけで行い、PTA活動の活性化につなげる。		
主体委員会名・講師名等	PTA役員会 講師(縁エキスパートに依頼)		

【親子講演会】  
○講演内容について  
講演会の内容については、中高生が陥りやすい事案(プライバシーの流出、架空請求詐欺など)をパワーポイントで分かりやすく説明していただいた。単にスマホの危険性についての説明だけでなく、「今何をやるべきか」とか「時間を大切にすること」など、キャリア教育の要素も含まれた講演内容で、生徒は最後まで真剣に聞き入っていた。また、講師の尾平晃一氏は「安全スマホ教室」の講師だけでなく、Jリーグや高校野球の実況中継、ラジオ番組のDJなどを務めていることから、「話し方」「伝え方」についても参考になった。



講演会の様子(講師と生)



講演会の様子(保護者席)

○事後アンケートより  
保護者対象の事後アンケートでは、全体の98%が講演内容は「とてもよかった」または「よかった」という回答であった。スマートフォンを理解できたか?という質問に対しては、「理解できた」と回答した人は69%、親子で講演を聞くことに対して「とてもよい」または「よい」と回答した人が93%、親子講演会を続けた方がよいと回答した人が83%と、参加された保護者の方々からは高い評価を得られた。このアンケート結果と講演内容をまとめた資料をPTAが作成し、1、2年生の保護者全員に配付した。(下)



アンケート記入の様子

- 【準備日程】
- ・前年度第4回PTA役員会で次年度の講演内容、講師、期日の検討(年度内に学校と連携しながら決定)
  - ・4月6日(水)第1回PTA役員会で講演内容、講師、期日の提案
  - ・4月20日(水)第2回PTA役員会で講演内容、講師、期日の決定
  - ・4月20日(水)第1回PTA地区学年委員会で提案、協力要請
  - ・5月14日(土)第3回PTA役員会で詳細日程、役割分担等の確認



受付の様子

- 【講演会当日】
- ・9:00役員・協力員集合、打合せ
  - ・9:30から受付、誘導案内、駐車場案内に分かれ係別の業務  
受付係(前半5名、後半5名)  
駐車場案内係(前半5名、後半5名)  
案内誘導係(前半2名、後半2名)  
役員は会場でリハーサル、講師対応
  - ・10:00~11:00 土曜セミナー見学会  
体育館へ移動
  - ・11:15~12:10 親子講演会  
司会進行(PTA副会長)  
講師紹介(PTA会長)  
講演(縁エキスパート 講師 尾平晃一氏)  
謝辞(PTA会長)
  - ・12:30役員・協力員集合、片付け、解散



土曜セミナー見学の様子

- 【講演会后】
- ・アンケート集約
  - ・アンケート結果と講演内容を保護者へ配付

メール送信先 [info@aichikoupren.org](mailto:info@aichikoupren.org)

スマホ親子講演会を終えて

1. 主催  
スマホの危険性を理解し、安全なスマホの活用について親子で考えるきっかけの場を作る。

2. 内容  
開催日時: 平成28年5月21日 11時15分~12時10分  
場所: 豊田西高 鴻志館  
参加者: 1・2年生生徒と保護者144名(1年99名・2年37名・3年8名)

【講演会】尾平 晃一(おひさ ことし)氏  
認知症予防専攻として「認知症予防のための脳機能トレーニング」の運営を行っている「認知症予防」の専門家として、10年以上の経験と最新の脳科学に基づいた講演をされ、Jリーグや高校野球の実況中継やラジオ番組でも活躍されているマルチタレント。

【講演のポイント】  
①インターネットやSNS(ソーシャルネットワークサービス)は危険がいっぱい  
②写真の流出 → 突然なれで野郎、流出した写真は一生涯ない  
③即時の通報で対応のアプリが「緊急通報」をさせる企業もある  
④本意から漏れる → 教員の写真から見られる場所、誰かを特定、家庭構成等知られてしまう。  
⑤偽装アプリ → 偽サイト(偽ダウンロード)したアプリから個人情報を盗み出し、高額請求されたり  
スマホが盗難された場合、盗難届を提出し、見失われる可能性がある。  
⑥スマートフォンは盗難された場合、盗難届を提出し、見失われる可能性がある。  
⑦スマートフォンは盗難された場合、盗難届を提出し、見失われる可能性がある。

3. 効果  
スマートフォンは盗難された場合、盗難届を提出し、見失われる可能性がある。

4. アンケート集約  
このアンケート結果と講演内容をまとめた資料をPTAが作成し、1、2年生の保護者全員に配付した。

【アンケート集約】

講演会内容

①とてもいい	98%
②いい	2%
③普通	0%
④悪い	0%
⑤とても悪い	0%

スマホとの付き合い方

①理解できた	69%
②理解できなかった	31%

親子で講演を聞くこと

①とてもいい	93%
②いい	7%
③普通	0%
④悪い	0%
⑤とても悪い	0%

【その他】  
「この講演会を通じて、子どもにスマホの危険性について話をすることができた。今後の講演会もぜひ開催してほしい。」  
「この講演会を通じて、子どもにスマホの危険性について話をすることができた。今後の講演会もぜひ開催してほしい。」

PTAが作成した保護者配布資料

○効果(保護者アンケート記述より)  
この行事による効果として2つ挙げられる。一つ目はアンケートの記述欄に複数の保護者が書かれていた「家庭で子どもと話し合いができる」という点。これはこの講演会の趣旨でもある「家族団らんの一助による生活満足度の向上」という目的を達成しているといえる。二つ目はスマートフォンに馴染みのない保護者の方が、この講演会を通じて理解を深めていただき、自信を持って子どもに助言ができるようになり、家庭でのルールづくりを容易にしたこと。この2点に大きな効果があったと思われる。

○改善点(次年度に向けて)  
親子講演会の形態や内容については、保護者アンケートの自由記述欄に、「各界で活躍しているような人を講師と呼び、将来を考えさせる機会にして欲しい」、「子どもの隣り席で聞きたい」、「中学校の体育祭と同じ日なので、実施日を変えて欲しい」など、参考となる意見を幾つかいただいたので、PTA役員会の企画段階で考慮し、生かしたい。  
運営については、2年目ということもあり、全体的にはスムーズに行うことができた。係別の反省で「暑いので帽子や飲み物を準備して欲しい」など要望があった点については改善し、次年度はさらに生徒・保護者にとって有意義な行事になるよう努めたい。



<b>PTA活動紹介</b>		高P連受付番号	2
PTA(学校)名	愛知県立津島北高等学校	部門	安全
活動テーマ	「つしま北高校 交通安全まもり隊」活動 ～生徒・教職員・保護者協働による安全街頭指導～		
キーワード	交通安全・地域社会貢献		
開催日	平成28年度は9月30日(金)及び10月20日(木) 来年度は5・9・10月の「交通事故ゼロの日」に各月1回ずつ(5月は2回)開催予定		
場所	①名鉄尾西線町方駅西側交差点 ②ヨシツヤ津島北テラス北東側交差点 ※ともに本校生徒の多くが通学に利用する交差点		
時間	8:00～8:30 ※生徒の登校時間		
参加者	11名(1回あたり) ※内訳 :生徒代表 6名 [1・2年生各クラスの生活委員2名 計12名が各回交替制で担当] 教職員 3名 保護者 2名		
趣旨	これまで、「交通事故ゼロの日 安全街頭指導」として、教職員と保護者で行ってきた活動に、「従来守られる立場であることが多かった生徒自身にも、交通安全や地域社会の安全を主体的に考え、行動できるようになって欲しい」との思いから、今年度9月より生徒代表(生活委員)も加えて再編成しました。 本校生徒だけにとまらず、ドライバーや地域の方たちに対しても、交通安全・地域安全を呼びかけます。		
活動ポイント	本校生徒に対してのみならず、ドライバーや地域の方たちに対しても、「交通社会におけるマナー向上や順法意識の高揚」、「積極的な声かけ(挨拶)による地域社会の見守り」を図っています。		
主体委員会名・講師名等	PTA生徒指導委員会		

## 〔参加者の感想等〕

### ○生活委員の感想

『スローガンを私たち高校生が考え、そのスローガンをもとに学校外で交通安全を呼びかけることで、地域の方々やドライバーの方々、また呼びかけている高校生自身にもとてもいい影響を与えることができたのではないかと思います。』

### ○通学生徒の感想

『大きな声で挨拶していて、自分も挨拶をしっかりやらなければと思います。スローガンが書いてある横断幕を見て、交通安全に努めていこうと思いました。』

### ○教職員の感想や期待

『スローガンの募集や投票、早朝の街頭指導など、生徒も大変だったと思いますが、楽しく、そして真剣に取り組んでくれました。交通社会の構成員として、これからも地域に貢献する意欲を持ち続けて欲しいです。(生徒指導主事)』

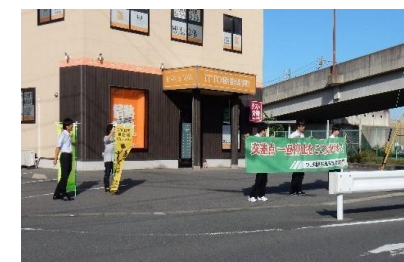
### ○保護者の感想や期待

『「まもり隊」への参加が、生徒たちにとって社会をより意識して見るきっかけになるといいと思います。それは、彼ら自身もその一員であるところの社会が抱える問題や、そのような社会の中での自分たちの行動の在りようについて考えることにつながります。交通事故や地域社会の諸問題について、いつか生徒たちの意見も聞いてみたいですね。活動中に生徒たちが事故に遭わないよう、私たちも気を付けます！(PTA会長)』

〔横断幕を広げ、「まもり隊」活動開始〕



〔出発前、本校玄関で事前説明〕



〔横断歩道を渡ってくる生徒を前に、「まもり隊」待機中〕



## 〔横断幕の作製〕

従来から使用してきた交通安全の「のぼり」に加え、今回の再編成を機に「横断幕」を3本新たに作製。

### ① 「交差点 一旦停止を ころがけ！」

交差点 一旦停止を ころがけ！  
つしま北高校交通安全まもり隊

### ② 「締めましょう！ 命をつなぐ シートベルト」

締めましょう！ 命をつなぐ シートベルト  
つしま北高校交通安全まもり隊

### ③ 「自分から すすんで挨拶 みな笑顔」

自分から すすんで挨拶 みな笑顔  
愛知県立津島北高等学校

とのスローガンをデザインした「横断幕」を街頭に掲げることで、交通安全と地域安全への呼びかけが、周囲に、より効果的に伝わるようにしました。

因みに、「横断幕」はいずれも生徒からの公募、投票を経て選ばれたもので、この点においても、「この活動に自分たち生徒も主体的に関わっていくんだ」との意志が表われているように思います。



## 〔今後の抱負〕

地域社会との連携を模索していきたいと考えています。

※地元ロータリークラブや近隣小中学校PTAと協力・連携しての児童生徒への「見守り活動」の実施も視野に入れ、活動の輪を広げていきたいです。

## 街頭指導の様子

<ヨシツヤ津島北テラス付近>



<名鉄尾西線町方駅西側交差点>





<b>PTA活動紹介</b>		高P連受付番号	3
PTA(学校)名	愛知県立岡崎東高等学校	部門	生徒指導
活動テーマ	岡東生、活力モリモリ大作戦(青少年健全育成活動)		
キーワード	元気な挨拶	交通安全	いじめ防止
開催日	平成28年11月22日(火)		
場 所	岡崎東高等学校 正門及び各学年昇降口		
時 間	午前7時50分～午前8時40分		
参加者	PTA役員・委員:15名 生徒指導部職員等:10名		
趣旨	子供たちの健全育成に向けて、PTAと教職員の合同の交通安全指導、挨拶運動及び青少年健全育成に向けたティッシュ配付を行う。		
活動ポイント	一日のスタートとなる、登校時の生徒へ元気よく積極的に声かけを行うことで、子供たちに元気を与え、より親密な関係を築く。		
主体委員会名・講師名等			

**【概要・目的】**  
○交通ルール遵守及びいじめ等の問題行動防止の呼びかけ  
1 登校時間の交通量と生徒の交通マナー状況の把握  
本校では、生徒の登校時間に国道1号線の渋滞回避のため、学校前の道路を抜け道として利用する車が年々増加している。一部の通学路は車の交互通行ができない道幅の箇所もあり、自転車通学者の交通事故が懸念される。また、正門付近における生徒送迎の保護者の車と登校生徒との交錯も心配の材料である。このような状況をPTA役員に把握していただきご意見をいただく機会とする。  
2 いじめ防止等健全育成に向けた挨拶の実施  
学校では日頃から生徒に対して挨拶の励行に取り組んでいるが、一日のスタートとなる朝から、PTA役員の方々と元気な挨拶を交わすことで、一層活力に満ち充実した学校生活を送るための機会とする。併せて、いじめ防止啓発のティッシュを配布し健全育成を推進する。  
3 生徒の身だしなみ等の実態の把握  
自分の子供以外の本校の生徒全体像を把握していただく機会とする。



正門での挨拶(PTA役員・委員:右端)



昇降口でのいじめ防止ティッシュ配付



<b>PTA活動紹介</b>		高P連受付番号	4
PTA(学校)名	愛知県立海翔高等学校	部門	安全
活動テーマ	繋がり、学び、広がるポウサイーPTA防災活動を軸としてー		
キーワード	防災学習	地域連携	防災意識の高揚
開催日	平成28年度年間を通して		
場所	愛知県立海翔高等学校教室及び計画に応じた場所		
時間	聴講授業は、第5、6時限目(13時20分～15時10分)、他は計画に応じた時間		
参加者	聴講授業は、生徒(環境防災コース1年生14名、2年生8名)、地域住民20～30名、教職員10～15名、PTA会員5～10名で実施しました。 他はPTA理事、役員を中心としたPTA会員(約50名)と教職員5～10名で実施しました。		
趣旨	本校をとりまく地理的な特性(濃尾平野下流域の海拔0m地帯)や想定される水害等の災害についての理解を深めることを目的とし、地域住民とともに協働で「防災について楽しく学びましょう」という活動を行っています。 PTA会員が学校内外の人的資源、物的資源、資金的資源、情動的資源、ネットワーク資源等の諸資源を活用し、地域との連携を図りながら防災に関する知識の習得や経験を構築することによって、地域ぐるみでの防災意識の高揚に繋がっています。		
活動ポイント	「ともかく、賑やかに!」「ともかく、楽しく!」「ともかく、積極的に!」を合い言葉に、PTA、地域の皆様、教職員、生徒が一体となり、地域の特性を活かした防災に関する体験的な学びを深めています。		
主体委員会名・講師名等	PTA生活・環境委員会が中心となり、環境防災コースに関わる教職員との協働で計画・実施をしました。		

**【本校をとりまく状況と活動の目的】**  
 本校は、愛知県西部、三重県との県境に位置する弥富市にあり、市内全域に、海拔0メートル地帯が大きく広がっています。平成27年度には、普通科の中に、県内初の環境防災コースが設置されたこともあり、①地域との連携を図りながら防災についての理解を深める。②生徒、保護者、教職員それぞれの防災意識の高揚を図る。③習得した知識や経験を活かし、地域の防災リーダーとして活躍できる資質を育むの3点を目的とし、年間を通しPTA活動を軸とした防災活動を実施しました。

**【実施した防災活動】**

**I 学校連絡網「きずなネット」(中部電力)加盟  
 <6月1日～>**



学校から防災に係わる緊急情報をさまざまなお知らせをメール配信する「きずなネット」に加盟しました。

**II 学校祭での豚汁炊き出し <9月8日(木)>**



ハソリで炊き出し訓練を行いました。作った豚汁600食は、地域住民の皆様を含む文化祭参加者に無料配布し、「美味しい!」と喜んでいただけました。

**III PTA研修旅行 <10月12日(水)>**



PTA活動会員19名、教職員3名で岐阜県根尾村の「根尾谷地震断層観察館・体験館」を訪ね、地震発生メカニズムを学びました。

**IV PTA防災デイキャンプ <11月25日(金)>**



↑①普通救命講習Ⅰの受講



↑②防災クッキング



↑③防災食の試食体験



↑④防災カードゲーム「シャッフル」

賑やかに楽しく積極的に、防災について学ぶ体験ができました。

**V 環境防災コース「聴講授業」**



**←①避難所体験<9月29日(木)>**

- 段ボールベッドで寝てみましょう!
- 新聞紙でスリッパを作って砂利道を歩いてみましょう!
- ビニール袋でカッパと帽子を作ってみましょう!
- 防災食を食べてみましょう! 以上の4つの体験をしました。避難所の窮屈さを体験することができました。

**↓③「ライフラインから学ぶ防災」<11月24日(木)>  
 ハソリを使ったおやつ作りも体験しました。**

**↓②認知症サポーター養成研修<10月20日(木)>**

災害時にも適切な支援ができるように、認知症の人と家族の応援者であるサポーターになりました。





PTA活動紹介		高P連受付番号	5
PTA(学校)名	愛知県立豊川特別支援学校	部門	安全
活動テーマ	PTA防災に関わる親子体験活動		
キーワード	避難所体験	就寝体験	防災食
開催日	平成28年7月23日(土)		
場所	愛知県立豊川特別支援学校 体育館		
時間	午後6時から午後9時		
参加者	PTA及びその家族(109名) 本校職員(10名) 豊川市企画部防災対策課職員(3名) 計 122名		
趣旨	東日本大震災及び熊本地震の発生等から防災に対する備えは喫緊の課題である。知的障害のある我が子が防災食を食べられるのか、避難所で寝ることができるのか、必要な備えは何かなどについて不安や疑問を抱える保護者が多い。そこで、親子で参加する避難所体験活動を計画した。体験を通して今後の防災への備えに対する意識向上を図りたい。 (1) 児童生徒とその保護者等が非常災害時の避難生活を体験する。 (2) 避難生活について、外部講師を招いての研修により知識を高める。 (3) 避難生活の体験を通して、課題を明確にし、今後の非常時への備えの参考とする。		
活動ポイント	・7月8日(金)に保護者向けのPTA防災講話を実施した。本体験活動はPTA防災講話と関連させて実施 ・体験を主体としながら、親子で楽しく学べる機会とした。 ・停電及び就寝体験は暗さが感じられるよう外が十分暗くなってからの実施とした。		
主体委員会名・講師名等	主体委員会:本校PTA R・R委員会(R・R=レスキュー&レクリエーション) 講師:豊川市企画部防災対策課職員3名		
1 準備日程	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 4月 R・R委員会にて研修会の実施を確認</li> <li>(2) 豊川市企画部防災対策課に講師依頼</li> <li>(3) 6月より準備を開始 <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 防災対策課職員とPTA代表者との打合せ(2回)</li> <li>イ R・R委員で打合せの実施、準備(4回)</li> </ul> </li> </ul>		
2 準備物	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) PTA及び防災対策課 アルファ一化米、非常食用ビスケット味噌汁(各約150食)、防災ミニ講座用プレゼン 防災DVD</li> <li>(2) 参加者 就寝用毛布等、懐中電灯、その他各家庭で必要と思われる物(自主判断)</li> </ul>		
3 活動の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) アルファ一化米の炊飯</li> <li>(2) 防災ミニ講座</li> <li>(3) アルファ一化米、非常食用ビスケット、味噌汁(炊き出しメニュー体験として)の試食</li> <li>(4) 停電及び就寝体験</li> <li>(5) DVD視聴</li> <li>(6) 質疑応答</li> </ul>		
4 当日の様子	<p>豊川市企画部防災対策課職員3名を講師にお迎えし、研修会をスタートした。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) アルファ一化米による炊飯 約50人前のお米が入っている箱に2箱(白飯とわかめご飯)に、お湯を注いだ。注ぐ作業を一部の児童生徒やPTAが行ったが、参加者はその作業を興味津々に見学していた。</li> <li>(2) 防災ミニ講座 お米が炊きあがるまでの時間を利用して、講師による防災ミニ講話を行った。本校児童生徒に合わせた内容のプレゼンテーションを講師に準備していただいた。クイズをまじえての講座で親子で一緒に考えながら楽しく学ぶことができた。</li> <li>(3) アルファ一化米、味噌汁、非常食用ビスケットの試食 炊きあがったご飯(白飯、わかめご飯のいずれか好きな方)と炊き出しを想定した味噌汁を全員に配給した。配給時には長蛇の列ができたが、約15分ほどで全員に配給でき、親子で試食した。意外においしいとの声が聞かれ、食べ残しが少なかった。</li> <li>(4) 停電・就寝体験 午後7時30分から8時までの30分間実施した。体育館の照明を一斉に落とすと、館内にどよめきが上がったが、親子一緒だったこともあり、パニックになる子どもは少なく落ち着いて過ごせた。タオルケットや簡易マット、懐中電灯を持参する方もいたが、特に準備がなく、体育館床に直接寝転がる親子もいた。停電中に講師から電気がない生活等についてお話をいただいた。</li> <li>(5) 防災アニメDVDの視聴 講師に準備していただいた地震に関する防災アニメの視聴をした。アニメであったため親しみやすく親子で集中して視聴できた。防災ミニ講座の内容とセットでより防災への意識が高まった。</li> <li>(6) 質疑応答 参加者の質問、及び事前質問に、講師により分かりやすく丁寧に回答していただいた。</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>講師の自己紹介</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>防災ミニ講座</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>防災食の配給</p> </div> </div>		
5 参加者アンケートより	<p>研修会後にアンケートを実施した。回収したアンケートから、この取組については「満足」「ほぼ満足」との意見であった。以下、得られた感想や意見は下記のとおりである。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アルファ一化米は思っていたよりおいしく、非常食に対するイメージが変わった。</li> <li>・家にある非常食を確認しないといけないと思った。</li> <li>・現実に困りそうなことについてアドバイスをいただけ参考になった。</li> <li>・クイズがあつて子どもは喜んで参加できた。</li> <li>・昨年より外が暗い中で、予告なく突然暗くなったことはとても良い体験であった。明かりの大切さを感じた。</li> <li>・床に寝るのは体が痛くなり、3日もたてばストレスになると思う。避難生活をしている方のつらさが分かった。</li> <li>・暗くなっても子どもは意外と落ち着いていた。</li> <li>・日頃からやっておかなければならないことが分かり、参考になった。</li> </ul>		
6 来年度に向けて	<p>昨年度から取り組み始め、今年で2回目となる。防災食の試食は昨年度も実施したが、防災ミニ講座や就寝体験、防災DVDの視聴は昨年度にはないプログラムであり、さまざまな体験ができるよう活動内容に変化をもたせてきた。</p> <p>障害の状況が個々に異なる中、避難所を想定しての体験活動を通して、各家庭ごとそれぞれに発見があり、今後の課題の確認ができた。また、防災に関する正しい知識を学べたと同時に、親子で話防災を話題にするよい機会となった。さらに、他の家族とも情報交換でき、互いに助け合っていこうという意識が高められた。</p> <p>今後も本研修会は継続して実施していきたい。さらに参加者数を増やすとともに、PTAと学校とが連携し、他にも想定できるさまざまな体験を取り入れて充実した研修会にしたい。PTAとして学校に関係する皆の防災意識が高まるように今後も取り組んでいきたい。</p>		
メール送信先	<a href="mailto:info@aichikoupren.org">info@aichikoupren.org</a>		



PTA活動紹介		高P連受付番号 6	
PTA(学校)名	愛知県立半田特別支援学校PTA	部門	安全
活動テーマ	PTA夏まつりにおける防災部の取組について		
キーワード	防災	体験	地域
開催日	平成28年7月9日(土)		
場所	愛知県立半田特別支援学校 小学部棟		
時間	午後4時から6時		
参加者	本校児童生徒、同窓生、教職員、PTA役員、地域の方々 合計 約 600名		
趣旨	本校では、東日本大震災後、地域や学校の防災対策が進む中で、保護者から、PTAの専門部会の組織に防災部を作って、保護者ができる防災対策の活動をしたいとの要望が出たことから、平成25年度に防災部を立ち上げた。地域で見聞きた内容を話題にして、自分たちの災害や防災への意識を変えることを目標に情報交換を積極的に行っている。今年度は、PTA夏まつりにおいて、児童生徒や保護者、地域の方々に防災への意識を高めてもらおうと、防災に関するイベントを行い、避難所体験や非常食の試食において好評を得た。		
活動ポイント	様々な人たちが一堂に会するPTA夏まつりで、PTA防災部が中心となって「防災コーナー」を設置して体験を中心にした取組を行い、5市5町の各地域の防災に関する情報等を提供し、児童生徒、保護者、地域の方々の防災意識を高めた。		
主体委員会名・講師名等	本校PTA防災部		
<p>平成25年度に「障害のある子供の保護者としてできる防災対策」について、何かPTAで活動を進めたいという保護者の思いから、PTA防災部を立ち上げた。学校と連携し、管理職や生徒指導部の防災担当と相談しながら、毎年少しずつ活動を増やしてきている。最初の年は、保護者に「防災に関するアンケート」を実施し、その結果を受け、「防災支援ガイド」を作成し、家庭でできる防災対策について保護者に啓発を行った。その他にも、「防災だより」の発行や、学校の防火防災避難訓練への参加、非常食の試食体験の実施、防災に関する保護者の勉強会などを行っている。今年度は、PTA夏まつりにおいて、児童生徒や保護者、地域の方々に防災への意識を高めてもらおうと、防災に関するイベントを行った。</p>			
<p>1 防災コーナーの内容</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 5市5町の防災マップ等地域の情報を掲示</li> <li>(2) 防災備品コーナー</li> <li>(3) 避難所体験コーナー</li> <li>(4) 防災ビデオ視聴コーナー</li> <li>(5) 非常食試食体験コーナー</li> <li>(6) スタンプラリー</li> </ol>			
<p>2 防災コーナーの準備日程</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 6月上旬 第1回防災部会議 出席者:防災部員、有志保護者、教頭 <ul style="list-style-type: none"> <li>・PTA夏まつりでの防災コーナーについて</li> <li>・「防災に関するアンケート」の実施について</li> <li>・今後の準備計画について</li> </ul> </li> <li>(2) 6月中旬 第2回防災部会議 出席者:防災部員、教頭 <ul style="list-style-type: none"> <li>・PTA夏まつりでの防災コーナーの具体的計画について</li> <li>・「防災に関するアンケート」の検討と配布及び回収、まとめについて</li> <li>・防災コーナーの物品購入計画について</li> </ul> </li> <li>(3) 6月下旬 第3回防災部会議 出席者:防災部員、教頭 <ul style="list-style-type: none"> <li>・当日の会場設置計画及び準備物の確認</li> <li>・半田市役所で物品借用</li> </ul> </li> </ol>			
<p>3 準備物</p> <p>長机、各種防災備品(家庭での持ち寄り物品及び学校備品)、避難所体験物品(テント、仕切り、寝袋、トイレ)、試食(各種非常食)、スタンプラリー景品(100円均一の防災グッズ)、一言アンケート、シート、手作りスタンプ他</p>			

[info@aichikoupre.org](mailto:info@aichikoupre.org)

4 当日の様子  
 PTA夏まつりの当日は、児童生徒や同窓生、保護者、地域の方々など約600名が参加した。防災部コーナーは、校内入口の小学部昇降口に設置したため、予想以上の参加者で、終始賑わった。「楽しく学べる防災」を合い言葉に、体験を多くしたり、スタンプラリーの形式をとったりしたため、子供から大人まで誰もが気楽に参加することができた。校区である知多地域の5市5町(東海市・大府市・知多市・半田市・常滑市・東浦町・阿久比町・武豊町・美浜町・南知多市)で作成された『防災マップ』は、PTAの各地区委員に入手を依頼し、それを展示した。参加者は、興味深げに、避難場所や危険地域を確認していた。また、100円ショップで手に入り、避難生活時に役立つ、ラップやLEDライト等、学校に常備してあるヘルメットや拡声器、ブランケット等を併せて展示した。参加者は、一つ一つ手に取りながら、丁寧に確認し、身近なところで手に入る便利性に驚いていた。避難所体験コーナーでは、テントや寝袋に入ってもらい、実際の避難生活を体験してもらった。狭いところが好きな子もいるので、テントや寝袋は思いの外、抵抗感がなく、遊び感覚で入って、体験することができた。また、新聞紙スリッパの作り方を紹介するコーナーでは、たくさんの新聞紙スリッパを参加者が作った。かわいくデコレートして、オリジナルのスリッパを作っている方もいた。非常食試食コーナーでは、水・混ぜご飯・缶に入ったパン、ビスケットを実際に試食した。その中で、味つけがしっかりしている「ドライカレー」が一番人気だった。「思ってたより、おいしい!」との声も聞かれ、非常食に対する抵抗感がやわらいだ方が多かった。

各コーナーの様子

地域の防災マップ



防災備品



100円お役立ちグッズ



新聞紙の手作りスリッパ



避難所体験



非常食の試食



防災ビデオ視聴

5 まとめ  
 参加された方のアンケートから、今回の取組では、防災グッズの展示、非常食の試食、防災マップという順でよかったという意見をいただいた。また、今後このような企画があったら、参加したいかという問いには、76%の方が「参加したい」と回答した。そして、「スタンプラリーで楽しく参加できた」、「非常食の試食がおいしくてびっくりした」、「パンフやチラシがとても参考になった」、「100円グッズは便利だと思った」など、多くのうれしい感想もいただいた。今回の取組で、参加された方々の防災意識が高まり、地域とのつながりも広がっていけば、幸いである。